資料２－３

会議結果概要報告書

通学部会
（第１回・第２回）

※北杜市立中学校統合準備検討委員会（第２回）議事資料
※ページ番号は上段中央に付番

別記様式（第１４条関係）

会議結果概要報告書

令和８年８月３１日

北杜市教育委員会
教育長　小尾　一仁　様

部会名称　通学部会
部会長氏名　伊藤　哲嗣

部会名	第１回　通学部会
開催日時	令和８年８月２８日　１９時００分から２０時１５分まで
開催場所	北杜市役所　北館３階　大会議室
出席者	２０名
議題及び検討の結果等の概要	（１）中学校統合までの検討の流れ（案）について 事務局の提案通りのスケジュールで進める。 （２）現状の把握について この議題が次回の討議の柱となるため，「現状の把握について」を再確認し，不安点や意見を「意見等取りまとめ表」に記入し提出する。 （３）次回部会について 令和８年９月３０日（水）１９：００ 北館３階　大会議室
会議資料	・中学校統合までの検討の流れ ・現状の把握について

収受
第 1785 号
08.8.31
北杜市教育総務

中学校統合までの検討の流れ（案）

資料５

１年目

・現状の把握
・課題の整理
・通学手段等の検討
↓↓↓
・通学計画(案)

２年目

・小中学校保護者説明会
→説明会での意見等により
通学手段等の再検討
↓↓↓
・通学計画の策定
↓↓↓
・スクールバス運行計画(案)

３～６年目

・通学計画の基づく詳細な通学手段等の検討
・新入生徒（転入生徒含む）による通学手段等の修正
↓↓↓
・小中学校保護者説明
↓↓↓
・お試し登校

開校

●通学部会部会員

・各中学校生徒指導主任
・各中学校PTA選任者等
現状に沿った協議・検討

2年目まで

・各中学校生徒指導主任
・各中学校PTA選任者等
・各小学校PTA選任者等
統合時を想定した協議・検討

新高根東小学校開校に向けてのスケジュール

ソフト事業計画

項目＼時期	H29年度												H30年度												H31年度	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
校歌		準備検討会開催	委託に決定	校歌委託先の検討・契約									作成　・成果物（楽譜、デモ音源）受領								森山氏による指導及び練習				開校	
校章		公募に決定					公募	広報・HPで10.5～11.24募集	高根統合小学校準備検討委員会で審査・（案）の決定		定例教育委員会で決定	報告	必要があればデザインの補正		校旗・児童会旗等作成											
通学方法						通学方法及びｽｸｰﾙﾊﾞｽ運行計画の決定							スクールバス購入									試運転		模擬登校		
						ｽｸｰﾙﾊﾞｽ運行計画の説明会																				
各種部会の活動		必要に応じた部会の活動																								
研究会・学習会						教職員の合同研究会　・　現三校の児童の交流学習会等の実施																				
閉校・開校準備・実施								現三校の閉校及び新しい学校の開校準備と実施 閉校式　：東小　30年11月 北小　31年3月 清里小　31年2月																		
引越し													教科部会で準備・リスト作成								入札		引越		
備品等廃棄													校長部会を中心に各部会で準備・リスト作成									入札		廃棄		
廃校後の施設の利用											跡地利用の関係課と検討・調整															

※　関係例規をH29年12月に改定

令和8年度のスケジュール（案）

1回(今回)

通学部会

・部会の進め方（スケジュールの共有）
・現状の把握

事務局

通学に伴う不安・意見等聴取

2～5回(9～12月)

通学部会

・不安、意見等の共有
→対応策の方向性の検討
・通学手段の枠組みづくり

事務局

通学計画(案)の取りまとめ

6回(1月)

通学部会

・通学計画(案)の内容確認

書面会議（予定）

準備検討委員会
(2月開催予定)

・通学計画(案)の協議及び検討

7回(2月)

通学部会

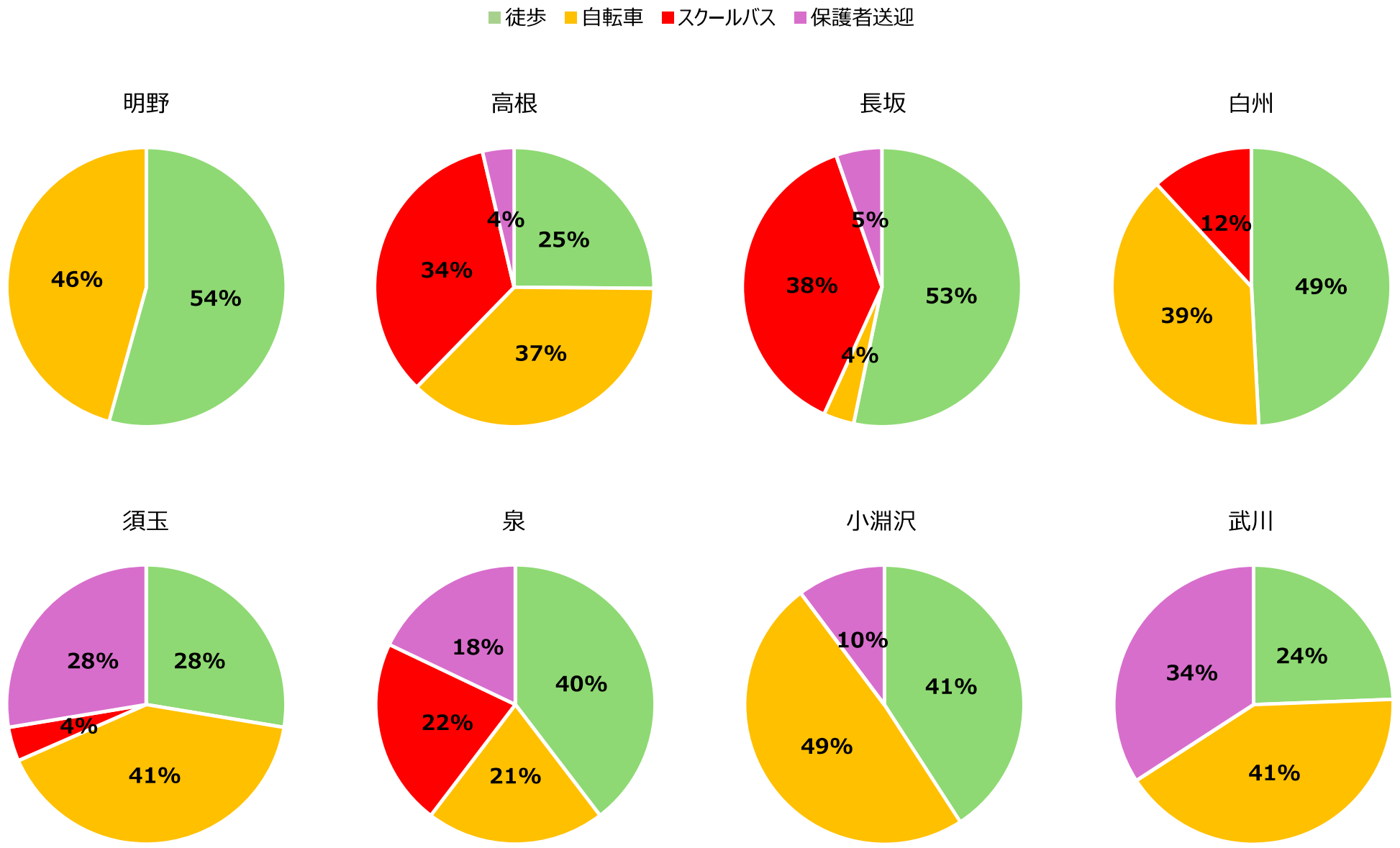
・通学計画(案)の策定

書面会議（予定）

資料６

現状の把握について

１．現行の通学方法



各校のまとめによる（令和８年度）

２．現行の日課と部活動の登録状況

	分類	明野	須玉	高根	長坂	泉	小淵沢	白州	武川
①	朝読書 学活 朝の会等	8:20～	8:20～	8:30～	8:20～	8:20～	8:25～	8:20～	8:15～
②	１校時	8:45～	8:45～	8:45～	8:45～	8:45～	8:50～	8:45～	8:40～
③	一般下校 （５校時まで）	15:15	15:00	15:00	15:00	15:10	15:20	14:55	14:30
④	一般下校 （６校時まで）	16:15	16:00	16:00	16:00	16:10	16:20	15:55	16:00
⑤	部活	～17:30 （４月～８月） ～16:15 （合唱発表会～12月）	～17:30 （４月～学園祭） ～16:00 （12月）	～17:30 （４月～８月） ～16:15 （合唱発表会～12月）	～17:30 （4月～８月） ～16:00 （12月）	～17:45 （4月～９月中旬） ～16:30 （11～1月）	～17:30 （季節による変動あり）	～17:15 （４月～新人戦） ～16:15 （12月）	～17:20 （４月～新人戦） ～16:30 （11月～１月）

分類	（仮称）東中						（仮称）西中					
エリア	明野	須玉	高根	泉	小計	割合	長坂	小淵沢	白州	武川	小計	割合
生徒数	81	76	191	106	454	-	169	186	59	41	455	-
部活動所属生徒数	62	75	152	76	365	80%	124	92	38	30	284	62%

各校の実態による（令和８年度）

３．現行のバス通学の概要

	分類	中学校					
①	エリア	須玉	高根	長坂	泉	白州	武川
②	運行主体 運行形態	①教育委員会 ②市民バス 定時定路	教育委員会 定時定路	教育委員会 定時定路	教育委員会 定時定路	市民バス 定時定路	市民バス 定時定路
③	運行日	①登校日 ②市民バス運行日	登校日	登校日	登校日	市民バス運行日	市民バス運行日
④	乗降場所	①バス停⇔学校 ②バス停⇔バス停	バス停⇔学校	バス停⇔学校	バス停⇔学校	バス停⇔バス停	バス停⇔バス停
⑤	登校	①2便 ※利用者1名のため 2便のうちどちらか	１便 ※８時台	２便 ※6・7時台	２便 ※7時台	―	―
⑥	下校	①2便 ※利用者1名のため 2便のうちどちらか	２便 ※16・17時台	２便 ※16・17時台	２便 ※16・18時台	―	―
⑦	利用者	①両組・八巻・岩下・比志・ 富里・小尾・豊里 ②津金・若神子・江草地区 ※該当地区のみ	①清里・長沢地区 ②清里・長沢・東井出・上の原地区 ③上黒沢・下黒沢地区 ※該当地区のみ	①塚川・日野・富岡地区 ②中丸・柿平・蕪・中島地区 ③小泉、大井ヶ森、小荒間地区 ※該当地区のみ	9区・10区 ※該当地区のみ	大武川・上教来石・下教来 石・鳥原・荒田・大坊地区 ※該当地区のみ	柳沢・真原地区 該当地区のみ
⑧	運転手	①民間委託 ②市民バス	民間委託	民間委託	民間委託	市民バス	市民バス
⑨	車両	①普通車　1台 ②マイクロ	中型　2台 マイクロ　1台	中型　1台 マイクロ　2台	中型　1台	マイクロ	マイクロ
⑩	運賃	①無料 ②フリーパス交付	無料	無料	無料	フリーパス交付	フリーパス交付

各校の実態による（令和８年度）

４．現行の北杜市内公共バスの運行の概要

	分類	中学校							
①	エリア	明野	須玉	高根	長坂	泉	小淵沢	白州	武川
②	運行主体 運行形態	山梨交通 定時定路	北杜市 定時定路				―	市 定時定路	
③	運行日	毎日 （仁田平線） ※平日のみ	平日 （南循環線） （津金･百観音線）	平日 （南循環線） （清里～長坂線）	平日 （南循環線）	平日 （大泉～長坂線）	―	平日 （白州～日野春線）	平日 （横手～日野春線）
④	乗降場所	明野総合支所 ⇔最寄バス停	須玉小学校前 ⇔最寄バス停	高根総合支所前 ⇔最寄バス停	長坂駅 ⇔最寄バス停	泉温泉前 ⇔最寄バス停	―	白州中学校 ⇔最寄バス停	武川中学校入口 ⇔最寄バス停
⑤	登校	7:16発 7:51発 （仁田平線）	7:04発左回り 7:17発右回り （南循環線） 6:35発 7:31発 （津金･百観音線）	7:04発左回り 7:17発右回り （南循環線） 6:45発 （清里～長坂線）	7:04発左回り （南循環線）	6:20発 7:06発 （大泉～長坂線）	―	6:30発 7:45発 （白州～日野春線）	6:30発 7:15発 （横手～日野春線）
⑥	下校	16:57発 18:15発 （仁田平線）	17:09発右回り 17:11発左回り 18:15発右回り 18:29発左回り （南循環線） 16:13発 （津金･百観音線）	17:09発右回り 17:11発左回り 18:15発右回り 18:29発左回り （南循環線） 18:28発 （清里～長坂線）	17:09発右回り 17:11発左回り 18:15発右回り 18:29発左回り （南循環線）	18:27発 （大泉～長坂線）	―	16:15発 18:20発 （白州～日野春線）	17:35発 18:53発 （横手～日野春線）
⑦	利用者	主に高校生	主に高校生				―	主に高校生	
⑧	運転手	山梨交通	北杜市が交通事業者に委託				―	北杜市が交通事業者に委託	
⑨	車両	中型	ポンチョ ※定員20人（運転手込）				―	ポンチョ ※定員20人（運転手込）	マイクロバス ※定員29人（運転手込）
⑩	運賃	距離別	100円				―	100円	

令和８年度の時刻表による

5．現行のJR中央本線の運行の概要

上り			
列車番号	小淵沢駅	長坂駅	日野春駅
530M	7:28発	7:35発	7:41発
424M	7:42発	7:49発	8:05発
426M	8:01発	8:09発	8:14発

※日野春駅～西中間は、1.8km

下り			
列車番号	日野春駅	長坂駅	小淵沢駅
439M	15:15発	15:21発	15:28着
441M	16:11発	16:17発	16:24着
347M	16:58発	17:04発	17:11着
537M	17:15発	17:21発	17:29着
443M	17:56発	18:02発	18:08着
445M	18:16発	18:22発	18:29着

令和８年度の時刻表による

6．令和13年度の生徒数・学級数の想定

分類	（仮称）東中						（仮称）西中					
エリア	明野	須玉	高根	泉	小計	学級数	長坂	小淵沢	白州	武川	小計	学級数
中１	18	39	58	31	146	5	43	28 (+20)	16	20	127	4
中２	25	38	52	43	158	5	44	41 (+20)	18	15	138	4
中３	21	27	62	41	151	5	56	31 (+20)	16	24	147	5
合計	64	104	172	115	455	15	143	100 (+60)	50	59	412	13

住民基本台帳による
R8.6現在

７．通学距離・時間に関する法律・制度等

内容	通学距離 に関する規準	バス等による通学時間 に関する規準
義務教育諸学校等の施設費の 国庫負担等に関する法律 施行令 （昭和33年制定）	【小学校】 おおむね４km以内 【中学校】 おおむね６km以内	―
公立小学校・中学校の 適正規模・適正配置等に関する手引き （平成27年策定）	小学校で４km以内、 中学校で６km以内 という基準は、 おおよその目安として妥当	適切な交通手段が確保でき、かつ遠距離通学や長時間通学によるデメリットを一定程度解消できる見通しが立つということを前提として、 「おおむね１時間以内」 を一応の目安とする

〈補足：公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きより〉

●各地域が抱える課題や実情は様々であることから、通学距離や通学時間について、機械的に本手引の考え方を適用することは適当ではない

●各市町村においては、児童生徒の発達段階、保護者のニーズ、通学路の安全確保、道路整備や交通手段の状況、気候条件、学校統合によって生じる様々なメリット、通学時間が長くなることによるデメリットを緩和したり、解消したりする方策の可能性、その際の学校・家庭・地域・行政の役割分担の在り方などの観点を全体的に勘案して、総合的な教育条件の向上に資する形で、通学距離や通学時間の目安を定める必要がある

８．資料から読み取れること

１．現行の通学方法
・学校や家庭の実情に応じて、徒歩・自転車・スクールバス・保護者送迎が組み合わさっていると考えられる

２．現行の日課と部活動
・登校は、8:15～8:30頃から始まる朝の活動に間に合うことが求められる
・下校は、一般下校（曜日や時期による変動あり）と部活後（時期による変動あり）の時間帯に移動が分かれる
一般下校時と部活動終了時の時間の差が小さいこともある
・部活動は６～８割くらいの生徒が参加している
一般下校時と部活動終了時の移動の人数比は、東中２：８、西中４：６（小淵沢のサッカークラブの影響あり）と想定できる

３．現行のスクールバス
・須玉・高根・長坂・泉でスクールバスを運行している
・須玉・白州・武川で市民バスが通学に利用されている
・スクールバスは、登校時１便、下校時２便、通学距離●km以上、バス停からの乗降が基本となっている

４．現行の北杜市民バス
・朝夕は「通学・通勤便」が運行しており、東中・西中の近くを通る便もある
・一方で、現行の北杜市民バスは、高校生向けに運行時間が設定されており、朝の便が早すぎる等の課題がある

５．現行のJR中央本線
・朝夕の時間帯に複数の便がある
・登下校に使うためには、自宅⇔駅、駅⇔学校の移動も含めて検討する必要がある

６．生徒数・学級数
・1学年４～５学級の規模の中学校が２校となる
・学区が大きくなるため、徒歩・自転車で通えない生徒の割合は増えることが想定される

７．通学距離・時間に関する法律・制度等
・通学距離は６km、通学時間は１時間の目安が示されている

別記様式（第１４条関係）

会議結果概要報告書

令和８年１０月　１日

北杜市教育委員会
　教育長　小尾　一仁　様

部会名称　通学部会
部会長氏名　伊藤　哲嗣

部会名	第２回　通学部会
開催日時	令和８年９月３０日　１９時００分から２０時００分まで
開催場所	北杜市役所　北館３階　大会議室
出席者	２１名
議題及び検討の結果等の概要	≪議事≫ （１）課題の整理と解決について（案） 取りまとめた不安点や意見について，事務局の提案とおり１年目は，『通学方法のシミュレーション』『通学計画への明記』に重点を置いて検討する。 次回以降は、通学手段の枠組みづくりとして、東学区・西学区にグループ分けを行い，ワークショップを行う。 （３）次回部会について 令和８年１０月２９日（木）１９：００ 西会議室
会議資料	・課題の整理 ・課題解決に向けた通学部会検討の流れ（案）

収受
第 2133 号
08.10.・1
北杜市
総務

課題の整理（不安点・意見のまとめ） 不安点 意見

資料２－１

大分類	小分類	No.	課題		課題解決に向けた通学部会検討の流れ（案）※資料2-2参照		
			どのようなこと	なぜそう思うのか	1年目	2年目	3～6年目
全体	全般	19	バスの運行本数・時刻表がわからないこと	集合時間や1日の便数が不明で、朝夕に部活動がある場合にそれに対応したバスがあるのか見通しが立たないため。	(１)通学方法のシミュレーション ①～⑥	スクールバス運行計画の検討 ①	
		21	通学のシミュレーションがないまま統合案が示されたこと	ルート、乗車位置、時刻表、運営費用等の具体的な情報が早期に示されておらず、家庭の負担が増えないか判断できないため。			
		4	生徒の登下校の方法について	学校の始業を8:20とし、生徒の登校は、徒歩、自転車、市民バス、スクールバス、家の送迎とする。 市民バスについては、公共交通の利用活性化のために、現存のバス停を軸に利用できるようにする。学校の始業時間や放課後にも利用できるように、増便やバスの往来時刻の多少の変更もお願いしたい。	(１)通学方法のシミュレーション ②③④⑤		
	通学時間	1	路線バスでは通学に時間がかかりすぎる	高根方面の直通がなく、市役所まで行かなければならないため	(１)通学方法のシミュレーション ①～⑥		詳細な通学手段等の検討 ①
		9	本当に家から学校まで1時間以内に到着できるのか	学校から遠い地区に住んでいる生徒たちの心身への負担が増えてしまう恐れがあるため。しっかり検討するべき			
	距離・時間	17	通学時間が長くなること	現在の小学校通学は2便利用で片道1時間程度かかっており、統合後はさらに延び、2時間近くになるのではと懸念している。文部科学省の調査による公立中学の平均通学時間（片道15～20分程度）と比べても長く、多感な時期の子どもの時間が奪われないか心配。			
	公共交通の活用	2	明野～高根間の路線バスの拡充と増便	新設校のためだけでなく、交通インフラの整備は移住検討者にとっても重要となり、北杜市全体に将来的にメリットを生むことになるから	(１)通学方法のシミュレーション ⑤⑥		詳細な通学手段等の検討 ①
		6	市民バスのルートを見直して、朝のバスに乗れなくても生徒が自力で学校に行くことができるようにしたい。	全ての生徒がなるべく負担なく学校に通えるようにしたいから			
		8	市民バスを利用するのであれば、学校の登下校に合わせたダイヤ改正や増発（スクールライナー的な運用）が可能か？	現在も同じ地域（方面）に同じ時間帯に2本スクールバスを出している地域がある。通学の時間は皆同じなので、万が一にも乗れないと言うような事態にならないように、乗車人数、乗車率、時間に合わせて対応が必要。			
		12	専用のスクールバスでなく市民バスを活用してはどうか	市民バスの減便で困る住民もいる中、地域交通としても活用でき、公共交通の利用促進や地域住民との交流にもつながる。また、閉鎖空間でのいじめ対策にもなると考えられるため。			
		13	送迎が必要な場合に備え、市民バスやタクシーとの連携も検討してほしい	学校が遠くなることで遅刻・早退時に子どもだけでの登下校が難しくなり、共働き家庭など送迎が難しい家庭もあるため。			
	プロセス	14	検討委員会には対象となる現小学生の保護者の意見も反映される仕組みにしてほしい	今回初めて意見を述べる機会を得たが、本来は対象となるお子様の保護者の声を早期から聞くべきと感じたため。			詳細な通学手段等の検討 ②
エリア・系統・乗降場所		3	スクールバスの増便が可能か	明野だけで80名を超えるため、須玉の生徒を途中で乗せることが困難となると予想される	(１)通学方法のシミュレーション ⑤⑥	スクールバス運行計画の検討 ①	詳細な通学手段等の検討 ③
		4	もし、東学区生徒が西学区を希望してもスクールバスは使えるか	現在、学区が違う生徒はスクールバスが使えないため			
		5	小淵沢学区の生徒の全体的な通学方法はどのようになるか	徒歩や自転車で通うことが困難なため、どのようになるか知りたい			
		6	アメージングアカデミーの生徒が各学年20名程度いるが、通学方法はどのようになるか	徒歩や自転車で通うことが困難なため、どのようになるか知りたい			
		15	バスの便が少なくないか	北杜市は広域で範囲が広い			
		16	通学用バス停を増やす	バス停が少ないと自宅から距離が遠くなる			
		18	バス停の設置場所・数がわからないこと	自宅から遠い場合に負担が増えるうえ、子どもだけで安全に行ける範囲に設置されるのか判断がつかないため。			
		1	明野～須玉を通るスクールバスが必須	路線バスがないため			
		3	学区が違う（例えば武川地区生徒が東中希望）場合であっても、バス利用を可能にするのはどうか	人間関係などから、学区を変えたい生徒もいるのではないか。実際、現在も家庭の事情などで、本来高根中学区の生徒であっても泉中学校へ通学している生徒がいる。スクールバスのバス停が近いが利用することができないでいる。こうしたことが、統合後は解消されるとよい			
		10	バスの便数を増やす				
保護者送迎		2	保護者の送迎の場合、ガソリン代が負担となる	明野から片道10㎞以上となるため	(１)通学方法のシミュレーション ③⑤⑥	スクールバス運行計画の検討 ①	
		11	朝、バスの乗れない生徒は（主に学校に行きづらいと感じていたり起立性調節障害などで朝起きられない生徒を念頭）保護者が送迎することになるのか	生徒が自力で学校に行く手段がないことでますます学校に行きづらくなるのではないか。また親の負担も増えるのでは			
		20	部活動加入時の登下校対応が不明なこと	学校が遠くなることで、部活動での遅い下校や、遅刻・早退の際に子どもだけでの登下校が難しくなり、親の送迎が必要になるのではと心配なため。			

課題の整理（不安点・意見のまとめ） 不安点 意見

資料２－１

大分類	小分類	No.	課題		課題解決に向けた通学部会検討の流れ（案）※資料2-2参照		
			どのようなこと	なぜそう思うのか	1年目	2年目	3～6年目
運転手		13	スクールバス（市民バス）運転手の確保	長坂保育園に園バスで通っていたが、運転手の確保が出来ないと言う理由で、現在はバスが運行されていない。スクールバスの運転手の高齢化も顕著であることから今後安定したバスの運行が可能か不安である	（２）通学計画への明記 ①	スクールバス運行計画の検討 ③	
事業費		10	スクールバスを運行する場合、毎年どのくらいの予算がかかるのか。また、それを維持していけるのか	持続可能なシステムにしたいから	（２）通学計画への明記 ②	スクールバス運行計画の検討 ③	
		14	登下校に要する公費について	例えばJR利用なら定期代、市民バスならフリーパス、スクールバスなら車両の維持費や人件費等のコストが発生すると思うが、持続可能な登校手段とするために、なるべくコスパのよい方法を検討する必要があると思う。			
		5	市民バスとスクールバスの利用について、ルートや維持費などしっかり比較検討したい	通学の負担を減らし、市の財政への負担も極力減らせるように考えたいから			
その他	運用	11	バスの座席を自由席にしてほしい	通学時間が長くなる分、友達と有意義に過ごせるようにするため（現行の小学校バスは座席指定制）。		スクールバス運行計画の検討 ②	詳細な通学手段等の検討 ②
	駐車場・駐輪場	7	日野春駅に駐輪場はあるか	400名の生徒のうち、駅から学校まで自転車を利用する生徒がいると思う。駅に自転車を止めておけるよう駐輪場の整備が必要ではないか	（２）通学計画への明記 ③		詳細な通学手段等の検討 ①
その他 （事務局）	駐車場・駐輪場	9	送迎用駐車場の確保	諸々の事情により、常時または特定の日（雨天等）に送迎を行うことが考えられるが、生徒数が増えるので車両数も増加が見込まれる。相応の広さの送迎用駐車場が必要と考えられる。	（事務局）他部会等への依頼。		
	道路の安全	8	徒歩や自転車の生徒が安全に通学できるか	新設中学校周辺は車の通行量がそれなりにあり、見通しが悪い個所もあって心配			
		7	徒歩や自転車の生徒のために歩道や自連者レーン、横断歩道、該当などの設置をして道路を整備してほしい。	今の道路状況では不安だから			
	熊対策	12	熊対策は	近年、熊の出没が増加しており、日野春駅周辺や高根町管内での目撃情報もある。いずれの学校の候補地も周辺はあまり明るくない上に、人家も周辺にないため、助けを求めることも難しい。徒歩や自連者での通学をしたいという選択肢も検討しても良いのでは			

課題解決に向けた通学部会検討の流れ（案）

資料２－２

1年目	（１）	**通学方法のシミュレーション** 《以下、シミュレーション前提》 ①　通学距離6km、通学時間1時間以内を目安に、生徒の安全・負担軽減が図られるように検討する。 ②　始業は8:20を想定する。 ③　下校時刻は流動的と考え、柔軟に対応できるように検討を進める。 ④　通学方法は、徒歩、自転車、公共交通（路線バス、鉄道、デマンドバス）、スクールバス、保護者送迎を組み合わせて考える。 ⑤　公共交通はできるだけ活用する方向で、担当課と連携しながら検討を進める。 ⑥　車両の大きさによって一度に運べる人数が決まってくるので、生徒の人数や分布をもとに具体的に検討する。
	（２）	**通学計画への明記** 《以下、明記する事項》 ①　スクールバス運転手の確保が必要になること。 ②　通学方法毎に想定される費用や維持費の概算説明。 ③　駅への駐輪場整備について検討が必要になること。

2年目	**スクールバス運行計画の検討** 《以下、検討事項》 ①　バス停、ルートについて通学時間を考慮して検討する。 ②　スクールバスの詳細な利用方法について検討する。 ③　想定される費用や維持費の概算説明。

3年目 ～6年目	**詳細な通学手段等の検討** 《以下、検討事項》 ①　通学計画に則り、生徒の安全・負担軽減が図られるような通学方法を検討。 ②　小学校保護者への説明や意見交換を進めていく。 ③　学区外のスクールバス利用について検討する。